

8 本時の展開 (全5時間中の第4時)

(1) 本時の目標

○直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を、角柱と見て考え、図や式を用いて説明することができる。

	発展クラス 28人 授業者：6年1組 小畑 美咲	標準クラス 26人 授業者：6年2組 長沼 広大	補充クラス 12人 授業者：算数科 小林 久仁子			
	◎学習内容 ○活動	◇指導上の留意点 ◆評価	◎学習内容 ○活動	◇指導上の留意点 ◆評価	◎学習内容 ○活動	◇指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	◎前時の学習を振り返る。	◇角柱の体積だけでなく、円柱の体積も「底面積×高さ」で求めることができることを確認する。	◎前時の学習を振り返る。	◇角柱の体積だけでなく、円柱の体積も「底面積×高さ」で求めることができることを確認する。角柱や円柱の底面は上下に向かい合った合同な面であることを確認する。	◎前時の学習を振り返る。	◇考え方と公式を確認し、公式を掲示しておく。
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を考えて説明しよう。</div> <p>◎見通しを立てる。 ○公式が生かせるか考える。</p> <p>○自力解決をする。</p> <p>○小グループで話し合いをする。</p>	<p>◇公式を確認して、課題の見通しをもたせる。</p> <p>◇デジタル教科書の参考動画を活用し、操作しながら考えさせる。</p> <p>◇角柱の底面は上下に向かい合った合同な面であることを確認する。</p> <p>◇自分たちの考えをもち寄り、デジタル教科書の参考動画を操作しながら考えさせる。 ◆【思考・判断・表現】直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を、角柱と見て考え、図や式を用いて説明している。(発言・ノート)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">直方体を組み合わせた図形は公式で求められるのか考えて説明しよう。</div> <p>◎見通しを立てる。 ○既習事項が生かせるか考える。</p> <p>◎既習を使って体積を求める。 ○自力解決①をする。</p> <p>○発表する。</p> <p>◎底面がどこになるか考える。 ○自力解決②をする。</p> <p>○公式に当てはめるとどこを底面にすればよいのか小グループで話し合いをする。</p>	<p>◇既習事項を確認して、課題の見通しをもたせる。</p> <p>◇デジタルコンテンツを活用し、操作しながら考えさせる。</p> <p>◇どのように考えたかを全体で共有する。</p> <p>◇デジタル教科書の参考動画や具体物を活用し、操作しながら考えさせる。</p> <p>◇ICTを活用し、角柱の底面は上下に向かい合った合同な面であることを確認する。</p> <p>◇自分たちの考えをもち寄り、デジタル教科書の参考動画や具体物操作をしながら考えさせる。 ◆【思考・判断・表現】直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を、角柱と見て考え、図や式を用いて説明している。(発言・ノート)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">体積の求め方を考えて説明しよう。</div> <p>◎見通しを立てる。 ○直方体(7×8×6)と階段型の立体を提示し、どちらの体積が大きいか予想する。</p> <p>◎底面を見いだす。 ○自力解決①をする。</p> <p>○グループで自分の考えを伝えあう。</p> <p>◎立式し、求積する。 ○自力解決②をする。</p> <p>○グループで、自分の考えた式を説明し合う。</p>	<p>◇既習事項を確認して、課題の見通しをもたせる。</p> <p>◇直方体と比較することで、体積を求める意欲をもたせる。直方体は公式を確認しながら一緒に解く。</p> <p>◇具体物を操作し、どこを底面にするか、どこを高さにするかを考えさせる。</p> <p>◇図の底面部分に色を塗り、高さを記入させる。</p> <p>◇4年生の既習事項である「複合図形の面積の求め方」のうち数種類の考えを確認する。3種類の解き方をヒントカードとして用意しておく。</p> <p>◇具体的な式が書けない児童には、分け方や引き方等、方法の説明をさせる。 ◆【思考・判断・表現】直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を角柱と見て考え、図や式を用いて説明している。(発言・ノート)</p>

	<p>○小グループで意見をまとめて、グループの考えを記入し、ムーブノートに送る。</p> <p>○検討・発表をする。</p> <p>◎公式を使って体積を求める。 ○適用問題を解く。</p>	<p>◇友達の意見のよいところを積極的に取り入れるように伝える。</p> <p>◇早く・簡単・正確な説明になるように言葉掛けをする。</p> <p>◇友達の考え方との共通点や相違点を見付けるようにして児童同士の考えに価値付けをする。</p> <p>◇底面をどこにするかを考えられるような言葉掛けをする。</p>	<p>○小グループで意見をまとめて、グループの考えを記入し、Teams に送る。</p> <p>○検討・発表をする。</p> <p>◎公式を使って体積を求める。 ○自力解決①で求められた答えと同じになるか確認する。</p>	<p>◇友達の意見のよいところを積極的に取り入れるように伝える。</p> <p>◇早く・簡単・正確な説明になるように言葉掛けをする。</p> <p>◇友達の考え方との共通点や相違点を見付けるようにして児童同士の考えに価値付けをする。</p>	<p>○自分の考えをまとめて解決する。</p> <p>○発表・検討をする。</p> <p>○解決方法を確認する。</p>	<p>◇友達の意見のよいところを積極的に取り入れるように伝える。</p> <p>◇友達の考え方との共通点や相違点を見付けるようにして児童同士の考えに価値付けをする。</p>
まとめ5分	◎学習を振り返りまとめる。	◇複合図形でも底面積×高さで体積が求められることを全体で確認し、自分が考えたことや新しく分かったこと、疑問に思ったことやもっと知りたいこと等をノートに書いてまとめさせる。	◎学習を振り返りまとめる。	◇複合図形でも底面積×高さで体積が求められることを全体で確認し、自分が考えたことや新しく分かったこと、疑問に思ったことやもっと知りたいこと等を Teams でまとめさせる。	◎学習を振り返りまとめる。	◇複合図形でも底面積×高さで体積が求められることを全体で確認し、今日の振り返りを Forms で入力する。

(2) 授業観察の視点

- 発展クラス
 - ・前時の振り返りを自分で言い、複合図形にも底面積×高さの公式で求めることができることについて考えることができたか。
 - ・デジタル教科書を活用することで、自分の考えを深めて説明することにつながったか。
- 標準クラス
 - ・既習事項や前時の振り返りを行うことで、複合図形にも底面積×高さの公式で求めることができることについて考えることができたか。
 - ・デジタル教科書の活用や具体物操作をしたことが、自分の考えを説明することにつながったか。
- 補充クラス
 - ・既習事項の掲示や前時の振り返りの紹介が、複合図形の求積の理解につなげることができたか。
 - ・具体物の操作やヒントカードの活用が、求積する際に自分の考えをもつことや、説明することの手だてとなっていたか。

